

3. 成人 Still 病の臨床的検討

菊池 正俊・小沢 哲夫 (新潟大学)
佐藤健比呂・長尾政之助 (第二内科)
荒川 正昭

中野 正明 (瀬波病院)
内科

若年性関節リウマチの全身型 (Still 病) が成人にも発症することが知られており, 成人 Still 病として区別されている. 今回, 我々は成人 Still 病の 1 例を経験するとともに, 過去に経験した本症を疑われた症例についても検討した.

症例は 26 才男性で, 発熱・関節痛・一過性の皮疹を主

訴として当科に入院した. 他に腺腫, 貧血, 白血球および血小板増多を認め, 炎症反応も強くみられた. 諸検査より, 感染症, 悪性疾患, 膠原病の確診はつかめず, 臨床経過および臨床所見より本症と診断した. その後, ステロイド治療により症状は著明に改善した. 本症を疑われた症例は, 過去に 3 例認めたが, いずれも確診には至らなかった.

本症は, 特徴的所見がないため除外診断的要素が強く, その診断には慎重を要するが, 従来考えられていたほど稀な疾患ではないと思われた.